

## 一般質問・質疑の概要

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
1	質問 (一問一答)	8 西本 政之	<p><b>1 SOGIについて</b></p> <p>(1) SOGIの多様性を尊重するガイドラインを策定し、SOGIについての理解とハラスメント防止のために、市民に周知啓発をすべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 小中学校のうちから、SOGIの理解のための教育が重要であると考えがいかがか。</p> <p><b>2 関係人口について</b></p> <p>(1) 関係人口の創出・拡大について本市の考え方を伺う。また、総務省の「関係人口創出・拡大事業」のモデル事業採択まで目指すのか。</p> <p><b>3 SDGs 未来都市について</b></p> <p>(1) SDGs 推進の取組みとして、SDGs 未来都市選定を目指しているということであるが、具体的な事業についての考えを伺いたい。また、選定にむけてのタイムスケジュールなどもお聞かせ願いたい。</p> <p><b>4 野々市市役所における障がい者雇用について</b></p> <p>(1) 令和3年3月1日から、障がい者の法定雇用率が0.1%引き上げられた。現在の雇用状況と令和3年6月1日時点での見込みを伺うとともに、今後の目標・方針を伺う。</p> <p>(2) 障がい者の雇用にあたっては、合理的配慮と相談体制の整備が求められる。本市の体制は十分であるか伺う。</p>
2	質問 (一問一答)	15 岩見 博	<p><b>1 都市計画税、下水道基本料金の引き上げについて</b></p> <p>(1) 市財政の硬直化を理由に、都市計画税、下水道基本料金を引き上げる方針を示しているが、いつから、何%に、いくらに引き上げようとしているのか。</p> <p>(2) 2020年の雇用統計で有効求人倍率は45年ぶりに大幅下落し、完全失業率は11年ぶりに上昇した。なかでも非正規は労働者の4割近くを占め、女性では50%を超え、雇用の“調整弁”として切り捨てられている。新型コロナの影響で、自粛による家計収入減と、いつ仕事を失うかもしれない不安定な雇用状況下に置かれている。小規模事業者もいつになったらよくなるのか見通しが立たず、廃業の危機との隣り合わせの厳しい状況にある。引き上げはこうした市民の暮らしに寄り添っているとは言えない。引き上げはやめるべきである。</p> <p><b>2 市有財産の売却と旧ウイング小西跡地駐車場と本町3丁目の旧大倉外科跡地について</b></p> <p>(1) 市財政の硬直化を理由に、市有財産の売却を検討するとのことですが、売却対象となる財産は何か。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
2	質問 (一問一答)	15 岩見 博	<p>(2) 市財政の硬直化の原因は新型コロナの影響だけではありません。市長はこれまで、中央地区整備事業のにぎわい交流ゾーン整備事業で、名目は移転補償費となっていますが、築後40年近い建物を約6億4000万円で購入し、一度も使うことなく約1億6000万円も使って解体するという巨額の無駄遣いをしてきた。それだけではならず、旧北国街道のにぎわい創出を名目に、土地所有者から「買ってほしい」と頼まれて旧ウイング小西の跡地を4270万円で土地公が購入し駐車場に整備しましたが、これまでに満車になった日は何日ありますか。私が目にするのは時々決まった車が一台駐車していることぐらいです。立て続けに、道路を挟んで駐車場の反対側にある旧大倉外科病院跡地を4000万円で土地公への債務負担行為をおこないましたが、当初の説明でも購入目的があいまいなままではありませんか。こうした無駄遣いが今後さらに財政の硬直化を招くことになっていくのではありませんか。これをあいまいにしたまま下水道の基本料金の引き上げ、都市計画税の引き上げ、体育施設の使用料の引き上げ、敬老福祉金の削減などなど、コロナ禍で苦しむ市民に新たな負担を押し付け、福祉予算を削るなどともありません。旧ウイング小西跡地駐車場と旧大倉外科病院跡地について市は購入することになるのでしょうか。</p>
			<p><b>3 小中学校の35人学級について</b></p>
			<p>(1) 政府は2021年度から5年間で小学校全学年を段階的に35人に引き下げる計画を決めた。そこで一番の課題となるのが、本市では教室不足が生じないのかということになります。見通しと対応を伺う。あわせて、中学校を35人学級にした場合はどうなのか伺う。</p>
			<p><b>4 放課後児童クラブ（学童保育）の支援員配置基準の改正について</b></p>
			<p>(1) 条例の一部改正で、「利用者の支援に支障がない場合であって、市長が別に定める利用者の安全確保方策による対策が講じられているときの放課後児童支援員の数は、支援の単位ごとに1人とすることが出来る」としています。これは支援員の配置基準の引き下げではないか。なぜ引き下げなのか。</p> <p>(2) 学童クラブでの子供たちの生活は、上級生と下級生が一緒になって様々な遊びを通してのびのびと成長していく場である。子供同士の喧嘩やいじめもあると思いますが、支援員はどんなときにも子供たちと向き合って話し合います。保護者と子供の様子を話し合ったりもします。難しい対応をしなければならないこともあると思います。だからこそ支援員のみなさんは様々な研修会に参加して経験を学びあう努力もしています。これまで、市は、国の参酌基準では子供の安全が脅かされるとして支援員の配置基準を1クラブ最低2人以上として人件費補助を含む運営費補助を行ってきたのではないのか。今回の改正によって、人件費補助が1人分だけとなれば子供の安全が脅かされることになる。人件費補助が削減されるのか。</p>
<p><b>5 子ども子育て支援について</b></p>			
<p>(1) 金沢市は、新年度9月から、ゼロ歳から2歳児の保育料を所得制限と同時入所の有無もなくし、第2子を半額に、第3子以降は無料にする新たな子育て支援策を発表した。当然、本市の子育て世帯は勿論、多くの市民はこの決断の差は何なのかと大きな衝撃をもって受け止めていることでしょう。本市で金沢市と同じように保育料の半額、無料を実施する場合、年間の必要予算額は。</p>			
<p>(2) 金沢市は、4月からこども未来部を「局」に格上げし、次代を担う子どもや子育て世帯向けの施策を強化するとしている。金沢市は、すでにこどもの貧困の実態調査を行うなどして子どもの貧困対策に本腰を入れていることと合わせて考えますとその本気度が伝わってきますし、今後も新たな施策を打ち出してくることになるのではないのか。子ども医療費助成の窓口負担の解消を含め、ますます本市の子どもと子育て世帯への支援策がこのままでよいのか問われることになってきている。市長は、金沢市は金沢市と静観していくのか、それとも積極的かつ具体的に施策を示す考えはありますか伺う。</p>			

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
2	質問 (一問一答)	15 岩見 博	<p><b>6 生活保護行政について</b></p> <p>(1) コロナ禍で突然の解雇などで生活に困窮する人が急増し生活保護受給者も急増している。一方で、一般社団法人つくろい東京ファンドが昨年未から年始に行った相談会や食料配布の参加者へのアンケートでは、生活保護を利用していない人が8割近くを占めている。その多くは生活保護を受けることを敬遠したり、福祉事務所に家族に「扶養照会」をすることに、申し訳ない、知られたくないという思いから申請を諦める事例が少なくないということです。本市の今年2月までの1年間に窓口で生活保護の相談に訪れた件数と保護開始の件数、窓口で親族への「扶養照会」を行っている件数、「扶養照会」で申請を辞退した件数は。</p> <p>(2) 日本では、生活保護利用の資格がありながら利用していない世帯が8割にもものぼると言われている。背景の一つに、親や配偶者だけでなく、ひ孫や叔父・叔母など3親等まで「扶養義務」の対象としていることがある。田村厚生労働大臣は、国会答弁で、「扶養照会は義務ではない」と大変重い答弁をしている。市としても、「扶養照会」を行うべきではない。</p> <p><b>7 ジェンダー平等社会の実現にむけた取り組みについて</b></p> <p>(1) 森喜朗前東京五輪組織委員会会長が「女性がたくさん入っている理事会の会議は時間がかかります」と、五輪憲章に反する女性蔑視の発言し会長職を辞任した。国内では、世論調査で森氏の発言を「問題がある」とした人は2月8日付読売新聞の世論調査で91%にも上った。国際的にも、多くのメディアや人権団体、欧州各国の在日大使館もツイッターで「沈黙しないで」などのハッシュタグを付けて抗議の意思を示すなど、世界で抗議が広がり、IOCも一転して、森氏の発言について、「完全に不適切」と指摘した。森発言はまた、森氏個人の問題にとどまらず、経済、教育、保健、政治の4分野14項目における男女格差の状況を指数化した「ジェンダー・ギャップ指数」が153か国中121位の後進国である日本社会の女性差別の構造的なゆがみをあぶりだした。加えて、日本のジェンダー平等社会実現への本気度について国際的な信用を失墜させた。市長は森氏の発言をどう受け止めているか。</p> <p>(2) 以前から、非正規の女性が雇用の調整弁として使われてきたジェンダー・ギャップをそのままにしてきたことが、新型コロナウイルス感染拡大で女性に大きな苦しみをもたらしている。女性蔑視発言あり、これを契機に、私たちの足元にある女性蔑視の日本社会の構造的なゆがみをただす取り組みを進めていかなければなりません。次期総合計画作成においても、ここを明確にして、しっかり向き合っ取り組むものにならなければならないと思うが、その考えは。</p>
3	質問 (一問一答)	4 向田 誠市	<p><b>1 新型コロナウイルス感染症全般について</b></p> <p>(1) 議案書提案説明の通り「予防接種に関しては、高齢者の皆さんより3月中旬より接種券の発送予定で、ワクチンが入荷次第接種開始予定です。」との説明でしたが、政府は、「4月12日（月）から全国一斉に接種開始。」との報道です。現況ではいつから我が市で接種開始が出来る見通しでしょうか。</p> <p>(2) 集団予防接種は「1日2会場日替わりで接種者100名から150名の予定で行う。」との説明でした。ところが、その後の報道発表で「集団接種の会場は一ヶ所にする。」との変更発表ですが、何処の施設を接種会場として予定をされ、設営にあたっては個人プライバシー保護の観点からパーティション式間仕切りを採用するべきだと思います。また、高齢者の方が接種を受けられる際、付き添い同伴者も来場される事が予測されます。その際の控え室なども十分に確保されるのかなど、一ヶ所の会場で様々なことを想定した接種体制がとれるのか栗市長にお伺いします。</p> <p>(3) 「当初は集団接種のみ」とお聞きしていましたが、その後「個人クリニック19ヶ所で接種可能」との報道記事を目にしました。個人クリニックで市民が安心して安全に接種が受けられるために、どのような連携内容を個人クリニックと結ばれたのかを栗市長にお伺いします。</p> <p>(4) ワクチン接種は市民皆様からの予約券の提出を受けて行います。当日予約された方が体調不良などの理由で予約をキャンセルされた場合、ワクチンの予定が狂い無駄になることも予測されますがその際、高齢者の付き添いで来場されたご家族の皆さんに優先接種してはいかがでしょうか。このような事態を想定した対応につきまして栗市長のご所見をお伺いします。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
			<p>(5) 我が市には、金沢工業大学と県立大学合わせて7503人の学生さんがキャンパスで学んでおられます。先程の「40%の学生さんが接種されない。」ことを参考にしますと3000人余りの学生さんが接種されない事態となります。今、感染経路の大半は「若者からの感染拡大」と「感染経路不明者」が多いことから、是非接種を受けていただきたいと思ます。若者に対する接種啓発などにつきまして栗市長のご所見をお伺いします。</p> <p>(6) これ以上感染者を増やさないためにも「うつらない・うつさないためにも、不要不急の外出自粛」と、予防接種の「受けるリスクよりも受けないリスクの大きい」ことを、市長自ら市民に訴えていただきたいと思ますが、栗市長如何でしょうか。</p>
			<p><b>2 野々市市の農業施策全般について</b></p>
3	質問 (一問一答)	4 向田 誠市	<p>(1) 稲作農家にとって土作りは基本中の基本です。肥料を半分に抑えるということは、土が痩せて収量に影響をおよぼすことは目に見えています。化学肥料を半減にすることで有機肥料による土作りを行わなければなりません。適正な土壌になるまでに減収減益になった場合、稲作農家に対して補償などの考えはあるのか、栗市長のご所見をお伺いします。</p> <p>(2) 農薬を半減にすることにより、昨年のように「カメムシ」が大量発生した場合「黒点米」問題が発生し、最悪の場合「販売米」にならない事態となります。「販売米」にするための対応には高額を選別機を設備投資する必要があります。またここ数年、梅雨時期の高温多湿時に発病する「イモチ病」が発症していませんが発病した時は、稲作農家にとって農薬半減では防除は難しく致命傷になりかねません。このような事態を鑑みた時の対処や対応について栗市長のご所見をお伺いします。</p> <p>(3) 現在本市の「農産物の特産品」はキウイフルーツ・ヤーコンですが今後、それ以外に何を特産化にされる予定ですか。また、特産化にされた農産物をどう「6次産業化」に結びつけて行かれるのか、栗市長のご所見をお伺いします。</p> <p>(4) 先日の報道発表で、いよいよ「猩々」が商品化に向けて動き出した事を知りました。しかし、「精米歩合を低くした仕様で純米吟醸酒に近い」との報道でしたが一つ提案させて下さい。「猩々」の製造に県開発の酒米「百万石乃白」を採用し、酒米の生産を野々市農業協同組合請負耕作部若しくは農業法人、稲作農家さんと酒造メーカーさんとの間で契約栽培を結んだら如何でしょうか。「百万石乃白」は「酒米五百万石」に比べ米粒も大きく、収量収益も生産農家さんにはプラスとなり、米粒が大きい事から酒造りに必要な「お米の芯」が、50パーセント精米でも確り残り、美味しいお酒造りが出来るとおもいます。今後も県立大学及び酒造メーカーさんに継続開発をお願いし、何処にも負けない市独自の特産品「大吟醸猩々」を目指しては如何でしょうか。以上の内容を踏まえて栗市長のご所見をお伺いします。</p> <p>(5) 栗市長ご自身、東京銀座アンテナショップでの販路拡充をどのような位置付けでお考えですか。また、12月定例会の答弁で「『6次産業化』に向けて重点的に充実を図って行きたい。」と答弁頂きましたが、栗市長の具体策をお伺いしたいと思います。</p> <p>(6) アンケート結果をお聞きになり、市長ご自身どのように受け止められましたか。今後の農業施策を進めて行くうえで、農業に特化した担当部署の設置や専門職員の採用などを提案したいと思ますが、栗市長のご所見をお伺いします。</p>
			<p><b>3 野々市市公共施設個別施設計画（案）について</b></p>
			<p>(1) 「地元町内会に譲渡を検討」と記載されていますが、事前に地元末松町内会に対し、打診の打ち合わせをおこなわれておられるのでしょうか。栗市長にお伺いします。</p> <p>(2) 末松会館「ラフォーレ」は、敷地については地元末松町内会から野々市市に寄付されていますので、地元に戻却する事で問題はないと思ますが、建物については建設当時、国が50%、石川県が25%、野々市市が12.5%、地元末松町内会が12.5%の比率負担で建設されたとお聞きしました。譲渡になった場合、市の対処や対応がどのようになるのか、栗市長にお伺いします。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
3	質問 (一問一答)	4 向田 誠市	<p><b>4 令和3年度野々市市予算について</b></p> <p>(1) 「市としてはここ3年で集中して、財政の状況を改善して行きたいと考えています。」と答弁されておられますが、市長自らこれまで強調されておられた「市民協働のまちづくり」に関する予算が削減されたり、「敬老福祉金」など福祉向上に関する予算も削られたりと予想もしない予算削減でした。私は、市政発展に向けた予算は極力削減するべきではないと思っておりますが、粟市長のご所見をお伺いします。</p>
4	質問 (一問一答)	11 辻 信行	<p><b>1 除雪について</b></p> <p>(1) 生活道路の除雪を早めるため、事前に町内会長と申し合わせを行い、地区の公園を雪捨て場にできないか。</p> <p>(2) 雪害対策本部設置時における、防災士との協力体制はどのようになっているのか。</p> <p><b>2 「シェアードオフィス野々市」について</b></p> <p>(1) コロナ収束後を見据えて「しごとを創る」新たな地域産業の創出を支援していただきたい。 現在の入居率と、ブースの増設、空きブース対策について問う。</p> <p><b>3 西部中央土地区画整理事業について</b></p> <p>(1) 西部中央土地区画整理区域内、区域外の整備状況を問う。</p> <p><b>4 教育センターの施設について</b></p> <p>(1) 施設のバリアフリー化を再検討すべきではないか。</p>
5	質問 (一問一答)	1 梅野 智恵子	<p><b>1 「野々市市第3次男女共同参画プラン」について</b></p> <p>(1) あと1年の策定期間が残されておりますが、現況での野々市市第2次男女共同参画プランにおける成果と課題を伺います。また、第3次プラン策定における現在の進捗と策定に向けての流れを伺います。</p> <p>(2) 第3次プランを策定するにあたり、策定委員として、市民協働課長、秘書室長、男女共同参画審議会委員3名、男女共同参画推進員1名、全6名で構成されているとお聞きしております。現在15名の審議会委員がいらっしゃいますが、多様な意見を拾い上げるためにも男女の割合、世代、職種などに偏りのない構成であることが望ましいと考えます。審議会委員は、どのような経緯で決定されているのか伺います。また、世代のバランスや、現役子育て世代の女性、学生は入っているのか伺います。</p> <p>(3) 第3次プラン策定にあたり、野々市市の現況と照らし「野々市らしさ」も大切に策定してほしいと思うところではありますが、国の第5次男女共同参画基本計画の全4項目11分野から、特に野々市市に反映しようと重視している項目分野はあるか、また本市としてどのような特色を打ち出す方針であるか伺います。</p> <p><b>2 「災害対策における男女共同参画の推進」について</b></p> <p>(1) 野々市市第2次男女共同参画プラン改訂版における成果指標にて、本市が育成する女性防災士の割合目標値30%に対する現在の進捗を伺います。</p> <p>(2) 市全体として女性防災士を増やしていくことも大切ですが、毎年行われている本市の防災訓練は町内会単位で行われているという視点からも、女性ゼロの自主防災組織を減らし、最低一人ないし二人以上の女性防災士の所属組織を増やしていくことも重要であると考えますが、本市の見解を伺います。</p> <p>(3) 今後、防災会議の女性委員の割合の数値目標達成に向けて、本市としてどのように取り組まれるのか伺います。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）	
5	質問 (一問一答)	1 梅野 智恵子	(4) 県の地域版女性人材育成プログラムのような、女性防災士の更なる育成や市内の女性防災士連携に向けた取り組みを本市で進めていただきたいと考えますが、本市の見解及び方針を伺います。	
			<b>3 「野々市市子どもの権利条例」の制定について</b>	
			(1) 野々市市は未だ子どもの権利条例を制定しておりません。今、コミュニティ・スクール設置に向け動いているこのときこそ、改めて子どもの権利条例の制定を考える機会だと強く感じております。野々市市子どもの権利条例を制定されることに前向きかどうか伺います。	
			(2) 野々市市子ども議会は野々市市議会が発案主導で行い、学校や教育委員会に働きかけ開催してこられたと伺っております。白山市では条例に則し、行政主導で事業を行っており、名称も「子ども会議」としております。子ども議회를今後も継続していくためにも、条例制定に紐づけ前向きに進めていくべきと考えます。本市の子ども議会のこれまでの成果や今後の在り方について伺います。	
6	質問 (一問一答)	5 北村 大助	<b>1 市内道路交通渋滞解消に向けて</b>	
			(1) 近年、市内主要道路の自動車交通渋滞をますます肌で感じております。まずは、市当局が市内主要道路、国道、県道、市道に限らず慢性的な交通渋滞路線を把握なされているのか市長の見解を伺います。	
			(2) 令和2年9月に石川県道路安全・円滑化検討委員会が行われました。情報共有や課題共有は図られておられるのか、市長の見解を伺います。	
			(3) 本市は立地環境から、ますます自動車交通渋滞の起きやすい可能性を秘めていると考えます。その解消に向けた取り組みを計画的に行わなければならない。渋滞解消に向け、野々市市が主導的に近隣自治体・関係機関と定期的な会議を行うことや、先進事例の研究に取り組んでいただきたいと思いますが、市長の見解を伺います。	
			(4) 「交通の円滑化と公共交通網の充実」を最重点施策ととらえ、課題解決に向けて具体的な取り組みを行っていただきたいと考えますが市長の見解を伺います。	
			<b>2 Kパーク（パーク・アンド・ライドシステム）について</b>	
			(1) Kパーク事業概要と現在までの経緯をまずは伺います。加えて自治体負担金を拠出している以上は市民にとって有益でなければいけないと考えるが市民の利用実績も含めて現状を伺います。	
			(2) 今後の方向性を伺います。推進か現状維持か、それとも廃止に向かっているのか、本市のこの事業に対する考え方について市長の見解を伺います。	
			<b>3 野々市・布水中学校について</b>	
			(1) 両校の来年度新入学生の見込み生徒数・学級数、また、両校それぞれ総生徒数はどのくらいの規模になるのか伺います。さらに、向こう10年間の両校生徒数の増減はどのような見込みを立てているのか見解を伺います。	
			(2) 両校の学級教室確保という観点から既存施設で対応出来るのか、今後の両校施設方針と展望を伺います。	
<b>4 第二次総合計画策定に係る「市民意識調査」について</b>				
(1) 意識調査の結果から特に印象に残った内容があったかどうか市長の見解を伺います。				
(2) 過去の調査と比べ、市民意識に変化が生じている事項がありましたら市長の見解を伺います。				

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
6	質問 (一問一答)	5 北村 大助	<p>(3) 今回の調査で「市民」、「出身者」、「市職員」と分けて調査を行ったことは評価致します。その中で施策の「今後の重要性」という設問で「市民」と「市職員」の意識の差、いわゆる「ズレ」の大小がどこなのかが大変重要です。特に「交通の円滑化と公共交通網の充実」、「市民協働のまちづくり」、「ふるさと意識の醸成と愛着心の向上」というところで大きな乖離が見受けられると考えますが、どのように受け止めておられるのか見解を伺います。</p> <p>(4) 市民意識の「今後の重要性」の中で「観光資源の発掘」が33項目中32位と低い結果であった。一方で市職員意識の「今後の重要性」の中で「農業の活性化」が33項目中33位と一番低い結果であった。いずれも抜本的な施策の転換や事業の見直しをせざるを得ないと客観的に映りますが市長の見解を伺います。</p> <p>(5) 5年前の調査では、「迅速で適切な行政サービスが受けられる」という設問で59.9%と約6割の方々が肯定的な評価をいただいておりますが、今回は44.6%と5割を割り込み悪化、また38.9%と4割近くの方々が否定的な評価となりました。この点は全職員が共有しなければいけない非常に重要な点だと思いますが市長の見解を伺います。</p> <p><b>5 野々市市第6期障害福祉計画、野々市市第2期障害児福祉計画について</b></p> <p>(1) 本計画は、障害をお持ちのご本人はもとより、サポートされているご家族などにとって重要な3ヵ年計画です。本計画の概要と、前計画に比べ充実・強化した点を伺います。</p> <p>(2) 計画内で市職員の力量形成に特に力を注いでいただきたい。加えてサービス事業所とより緊密な連携と協力体制に取り組んでいただきたいと考えるが、市長の見解を伺います。</p> <p><b>6 職員人事評価制度について</b></p> <p>(1) 改正地方公務員法で人事評価制度の導入により、能力及び実績に基づく人事管理の徹底を図る措置が講じられていると思いますが、どのように活用・運用しているのか見解を伺います。また制度が導入され5年経過していますが、本市の人事評価制度の方針を市民に発信し、必要に応じて機敏に制度の見直しを行っていただきたいと思いますが、市長の見解を伺います。</p>
7	質問 (一問一答)	3 小堀 孝史	<p><b>1 小学校の教科担任制について</b></p> <p>(1) 文部科学省の中央教育審議会（以下：中教審）が、令和3年1月26日「『令和の日本型 学校教育』の構築を目指して」を答申しました。その中で、小学校高学年の外国語・理科・算数などへの教科担任制の導入を求めています。また答申には、2022年度をめどに本格導入する必要があると明記されている。現在、先行的に取り組んでいる推進校の関係者からは、さまざまな利点・効果の声が上がっていますが、今後の取り組み方針について所見を伺います。</p> <p>(2) これからは学級担任制のように教員1名がすべての教科を受け持つのではなく、専門知識を備えた複数の教員が必要となります。教員数は県からの指示ではありますが、今回の小学校の教科担任制の導入における教員の確保に関する所見を伺います。</p> <p><b>2 男性の育児休業取得について</b></p> <p>(1) 厚生労働省は、これまでの男性の育児参加の制度とするため、法律改正を計画しているとの報道があった。この制度は、子供の誕生から8週間以内に、4週間の休みを2回に分けて取得可能とするものです。厚生労働省の分析によると、地方公務員の男性が取得した育休期間は、① 半年以下が82%、② 1ヶ月以下の中で、3人に1人が「2週間未満」10人に1人は「5日未満」であります。これは、職場への配慮と収入への不安が考えられます。本市の「次世代育成支援対策の推進及び女性の活躍の推進に係る特定事業主行動計画」における男性職員の育休、配偶者出産休暇の取得について、目標が達成されたのか、具体的な取得状況について伺う。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
7	質問 (一問一答)	3 小堀 孝史	<p>(2) 近隣の金沢市では、育児休業を希望する男性職員と管理者が事前に面談をして取得率を上げています。職場の同僚への配慮も含め、育休を取得し易い環境となっています。その結果、育休取得率も向上し、令和3年度は国家公務員並みの取得率30%を目標としています。当市役所でも同様な取り組みを実施することにより、取得を希望する職員が育休を取りやすくなり、子育てと仕事を両立できる環境作りが整備されます。男性職員に対する具体的な取り組み事項を伺います。</p> <p><b>3 市の施設の多目的トイレについて</b></p> <p>(1) 市の施設の多目的トイレはその名称のため、一般の方が利用することにより、本当に必要な人が使いづらい事例が多く見られるようになりました。この度、国土交通省は「バリアフリートイレ」として名称を改め、本来必要な人が利用できない事態を防ぐため、ビルや店舗などの建築物のバリアフリー設計ガイドラインを改めるとの報道がありました。本市としても、利用者が「お互いを思いやる心を持ってトイレを利用してもらう」ために取り組む必要があると考えます。そこで、市に設置されている市の施設の多目的トイレにおいて、国土交通省が実施している「トイレの利用マナー啓発キャンペーン」の取り組み状況を現地で確認したところ、ほとんどの施設でチラシなどが表示されていませんでした。このキャンペーンのチラシやポスターを活用して、「思いやる心を持って、真に必要な人への配慮」ができるよう、取り組むべきと考えますが、いかがでしょうか。今後取り組まれるのであれば、具体的な取り組み内容について伺います。</p>
8	質問 (一問一答)	2 朝倉 雅三	<p><b>1 県が東京銀座に開設している、アンテナショップについて</b></p> <p>(1) 県が開設しているアンテナショップに、本市は年間いくら負担していますか。</p> <p>(2) 県が開設しているアンテナショップに本市と関係する特産品などの商品を展示販売しておりますか。</p> <p>(3) 県が開設しているアンテナショップに野々市ブランドの認定品やふるさと納税の返礼品を展示販売できないのでしょうか。展示販売に制約があるのか伺います。また、出店に当たり、手数料が発生することがあれば、インセンティブ制度などを導入し、出店する事業者にとってメリットがある仕組みづくりを設けることで、野々市ブランドを高める努力をしてはどうか。市長の所見を伺います。</p> <p><b>2 本市が指定した、文化財について</b></p> <p>(1) 個人所有の本市指定文化財について定期的に所在確認を行っているか伺います。</p> <p>(2) 個人所有の市指定文化財を期間限定で展示してはどうか。私は、本市で出土した「和同開珎」を見たことがありません。学校教育の一環で、小学生に実物を見せ、本市の歴史を再認識してもらうためにも検討いただきたい。教育長の所見を伺います。</p> <p><b>3 市営墓地公園を経由する「のっティ」の臨時コースについて</b></p> <p>(1) 令和4年中に市営墓地公園の墓地利用希望者を募る予定であると聞いております。この墓地の魅力を高める上で、お盆の一定期間、「のっティ」が市営墓地公園を経由しながら市内を回る臨時のコースを提案します。ただし、臨時便であるため、通常コースは減便する、また、運転手の負担軽減を図り、臨時コースに係る便は、午前・午後の1便とします。臨時便でありますので、国土交通省に申請などが必要であると思いますので、今から運行計画の策定や手続きに着手してはどうか、市長の所見を伺います。</p>



発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
8	質問 (一問一答)	2 朝倉 雅三	<p><b>4 末松廃寺跡収蔵庫の利活用について</b></p> <p>(1) 平成29年3月に策定されました「野々市市公共施設等総合管理計画」では、末松廃寺跡収蔵庫の廃止を検討すると記載されております。現地を見ますと土地は国指定史跡であり売却は無理であります。「野々市市手取川・高橋川・伏見川・安原川洪水避難地図（洪水ハザードマップ）」を確認いたしますと、1000年以上に一度の大雨の場合、末松近辺は最大0.5メートルの浸水区域となっております。末松廃寺跡収蔵庫は、基礎部分がGLから0.66メートルであります。また、屋根の修理した事業者に聞きますとアルミを含んだ疑似瓦の折板で、鉄筋コンクリートづくりのしっかりした建物であります。現在のまま残し、当面の間は書庫として活用してどうでしょうか。教育長の所見を伺います。</p> <p>(2) 公共施設の整理としては、以前提案いたしました押野倉庫、三日市倉庫を先に民間に売却することが当然と考えます。市長の所見を伺います。</p> <p><b>5 野々市市公共施設個別施設計画について</b></p> <p>(1) この計画を一読いたしますと、相当な力仕事になると思えます。この計画において、本市の人口一人あたりの公共施設等の保有量は、維持し取り組んでいくとのことであり、市民体育館周辺に新たな体育施設の増加分を加えると、「現状施設－スクラップ－スクラップ－スクラップ＋新施設＝現状保有量」と考えるしだいです。そこで「スクラップにするもの」、「再活用するもの」、「売却するもの」に分けて提案いたします。</p> <p>1点目は、 「市民体育館」新設後、「武道館」、「弓道場」、「相撲場」は、複合施設を新設後に解体し、「武道館」の土地は売却する。</p> <p>2点目は、 「中央保育園」機能は機能移転、「あすなろ保育園」は解体売却、「中央児童館・本町児童館」機能統合し、どちらか土地を売却する。</p> <p>3点目は、 「子育て支援センター菅原」は、「保健センター」2階へ移転し、土地建物は解体売却する。</p> <p>4点目は、 「いきがいセンター矢作・御経塚」は、「老人福祉センター椿荘」へ集約し、「両いきがいセンター」は、「社会福祉協議会・シルバー人材センター」に転用活用し、両建物土地は売却する。</p> <p>5点目は、 本町4丁目駐車場についても売却し、「北口プラザ」は「IRいしかわ鉄道株式会社」へ無償譲渡する。</p> <p>以上、市長の所見を伺います。</p>
9	質問 (一問一答)	10 杉林 敏	<p><b>1 「JR野々市駅周辺エリアの在り方」について</b></p> <p>(1) 現在、本市の玄関口であるJR野々市駅周辺エリアは立地適正化計画においては、都市機能誘導区域となっているが、どのような都市施設を誘導していくのか、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 北陸新幹線の開業が1年程度遅れる見通しとなっているが、その影響により並行在来線の第三セクター移行や野々市駅の無人化移行について、市へはどの様に報告が来ているのか、また、定期的に状況を把握する必要があるのではないか、伺う。</p> <p>(3) 並行在来線の第三セクター移行や野々市駅の無人化移行も含めて、駅利用者の利便性向上、駅舎案内のサイン設置や歩道舗装補修、緑地・花壇の整備、オープンカフェ開設、まちなかを車中心からひと中心の豊かな生活空間づくりへと転換し、市民が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられるウォーカブルな街づくりなどが考えられる。中長期的には、商業施設立地促進、市民活動拠点整備、広場・緑地等での自転車活用など賑わい創出をもたらす様々な方法が考えられる。市長の展望を伺う。</p> <p>(4) JR野々市駅周辺エリアの今後の計画や総合計画で掲げている「市民協働のまちづくり」の推進などを踏まえると、「御経塚まちづくり会」と協力（市民協働）して、JR野々市駅周辺エリアにおける市民協働の取り組みや地元のボランティア組織に対してインセンティブ（意欲・刺激の支援）が向上するような取り組みをしてはどうかと思うが、市長の見解を伺う。</p> <p><b>2 野々市市土地区画整理事業について</b></p> <p>(1) 令和元年以降、これまでに3地区の市街化区域への編入手続きが終了していると聞いている。この地区の事業において施行の主体はどのような種別なのか、また、予定されている地域において市街化に向けてどのような土地利用、用途を計画されるのか現在の状況を伺う。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
9	質問 (一問一答)	10 杉林 敏	<p><b>3 長池地区土地区画整理事業の実施に向けて</b></p> <p>(1) 長池地区の周辺環境が大きな変貌を遂げようとするとき、この地区の望ましい土地利用、当該地区の潜在性、発展性をどれくらいあると思っているのか市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 野々市駅利用者のさらなる拡大が予想される中で、歩行者にとって安全な道路を確保することが必要です。それぞれの地区の成長を見極めながら安心・安全通行確保のための適切な幅員を持つ道路整備は重要です。第一次総合計画の具体施策である「便利で快適な道路網の整備」を目指すためにも、既存道路の拡幅等が必要と考える。そういう観点から当該地区を含めJR野々市駅周辺エリアの道路網整備計画について今後どのように考えているのか市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 当該長池地区は西側に二級河川安原川があり、隣接する白山市横江地区へのアクセスが考えられ、昨年、地元の長池町内会並びに長池土地区画整理組合設立準備委員会から市に対して要望され、長池地区だけではなく、JR野々市駅の利用者や御経塚地区、白山市横江地区にとっても利便性向上や安全・防災上、必要であり、地域一体となったまちづくりには欠かせないものと考えますが、市長の見解を伺う。</p> <p>(4) 当該長池地区には、埋蔵文化財包蔵地が多く点在しており、遺跡発掘調査においては多くの年月・労力がかかります。この土地区画整理事業では本市としてもこの周辺地区の発展に後れをとることができない。また事業費の余裕もなく、早期着手・完成には遺跡発掘調査の短縮が必要です。先進自治体を参考にして、方法を工夫しながら遺跡発掘本調査の期間短縮を出来ないか伺う。</p>
10	質問 (一問一答)	6 馬場 弘勝	<p><b>1 日本酒「猩々（しょうじょう）」を野々市ブランドに育てる</b></p> <p>(1) 試験醸造の現段階に至るまでの経緯を詳細に伺う。また、サンプル酒はどのような味わいなのか、市長は、今後の期待も含めてどのように感じたのか。</p> <p>(2) 販売サイズ、容量、価格帯、ターゲット層、表ラベルデザイン等、どのような想定、予定なのか。また、プロモーションは特に市が関わり、「猩々」の応援団として、喜多家の歴史を含めたこの商品の物語や着眼点、切り口をよく考えながら進めていくべきだと考える。試飲会、キャンペーン等、どのようなかたちでプロモーションに関わっていくのか。</p> <p>(3) 販売場所、流通形態はどのような予定なのか。商工会等との連携を含めた地元飲食店との連携、ふるさと納税の返礼品等、様々な展開を検討していくべきではないか。また、来年度の製造内容、生産量の見通し、販売スケジュールを伺う。</p> <p><b>2 採算性を確保できる喜多家住宅の活用を考える</b></p> <p>(1) 北国街道エリアにおけるまちづくり基本構想から基本計画へと活用策を具体化していくために、特に公有化された喜多家住宅の活用策について、例えば、有識者や地元住民等による会議、データ調査、サウンディング市場調査等、どのような手法で検討を進めているのか。具体内容を伺う。</p> <p>(2) 民間事業者の参入の際には、活用策に応じた改修、耐震補強が必要であり、文化庁との協議も行わなくてはならない。今後のスケジュールは、民間事業者の選定が先なのか、改修、耐震補強が先なのか。また、喜多家住宅の活用と管理、エリア内の複数の施設を一括活用、一括管理していくには、非常にハードルも高いと考えるが、集客力の確保、財政支出の軽減、エリア全体への波及という点において、現段階の課題を伺う。</p> <p>(3) 喜多家住宅の活用、運営管理は、採算性を確保できるモデルでなければならぬと考える。収益施設の利益によって施設管理が成り立つモデルでなければならぬ。そうならなければ、空き家や古民家の活用等、新規事業参入も含めたこのエリア全体が、今後ずっと税金を投入しつづけなければ成り立たないといった良くない状況になってしまうのではないかと危惧される。収益と採算性についての考え方を伺う。</p> <p><b>3 公共の経営、このまちの財政を健全化する</b></p> <p>(1) コロナ禍の状況の中で、令和3年度予算案において、自主財源の根幹である市税は、5億299万円の減収見込みとなっている。その原因と具体内容を伺う。</p> <p>(2) 経常収支比率97.1%を改善しなければならない。物件費や公債費等の経常経費が増大し、財源不足が生じていることをどのように捉えているのか。改善策についての考え方を伺う。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）	
10	質問 (一問一答)	6 馬場 弘勝	(3)	目的税である本市の都市計画税について、歳入と歳出のバランスが取れていないことに対して、どのように捉えているのか。また、収支のバランスを改善するためにどのような方針で進めるのか。
11	質問 (一問一答)	14 大東 和美	1	<b>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、学校図書館に書籍除菌機を設置してはどうか</b> (1) 各小中学校の学校図書館におけるコロナ対策の状況や課題等について伺う。 学校図書館に書籍除菌機を設置してはどうか。市長の見解を伺う。
			2	<b>今後10年の財政運営の考え方について</b> (1) 第二次総合計画において、本市の財政がどのような状況にあり、目指す10年後のまちの姿はどうなるのか。 実質公債費比率を基にした今後10年の財政運営の考え方について伺う。
			3	<b>宿泊型産後ケア事業の利用者負担の軽減について</b> (1) 本市独自で、市内在住者は1割負担で宿泊型産後ケア事業を利用できるようにならないのか、市長の見解を伺う。
			4	<b>介護関係者が高齢者宅を訪問する際の駐車スペースの提供を事業者等に依頼してはどうか</b> (1) 在宅療養が始まると、医師・看護師・薬剤師・ケアマネジャーなど多くの人が訪問することになるが、駐車場の確保が課題になると予想される。 駐車場の確保に向けた、本市の取り組みの工夫と現状について伺う。 また、駐車スペースの提供を事業者等に依頼してはどうか。市長の見解を伺う。
			5	<b>本市の避難所のバリアフリー化の計画と方針について</b> (1) 本市の避難所において、段差の解消をはじめとするバリアフリー化されているのは、全体の何パーセントになるのか伺う。 また、本市の今後のバリアフリー化の計画や方針はどのようになっているのか伺う。
12	質問 (一問一答)	7 安原 透	1	<b>「公益財団法人野々市市情報文化振興財団（情報交流館カメラア及び文化会館フォルテ）の施設運営管理体制について」</b> (1) 令和3年度から令和5年度までの3か年の「財政健全化集中取組期間」の中で、公益財団法人野々市市情報文化振興財団が運営管理をしている文化会館フォルテ及び情報交流館カメラアの施設運営管理について、現状の公益財団法人の指定管理者から、民間活力を利用した指定管理者への移行について検討すべきである。施設運営面でのサービス向上による利用者の利便性の向上や、運営管理経費の削減による本市の財政負担の軽減が見込める。市長の所見を伺う。
			2	<b>本市の学校運営協議会制度の設置と推進について「まちづくりフォーラム未来の野々市を担う子どもたちにできること」に参加して</b> (1) まちづくりフォーラムにて「野々市の次代を担う子どもたちを育てる」というテーマで、コミュニティスクールのあり方、本質についても講演された内容であったと理解しているが、率直にどのように感じられたか、市長の所見を伺う。
			3	<b>本市の高齢者施策について「安心して暮らせる高齢社会について」</b> (1) 今後、超高齢社会の到来にむけて、ひとり暮らしの高齢者や、高齢者のみの世帯が増えることが想定されますが、今後の第8期介護保険事業計画において、どれくらいの数と想定しているのか、ひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯数について、現状の数を伺う。 (2) 本市の認知症高齢者の有病者数と今後の推移について、また今まで実施してこられた具体の認知症施策について、市長の所見を伺う。 (3) 本市における認知症施策として、今後認知症有病者が安心して暮らせる社会構築の為に、認知症有病者の為の救済制度導入が必要である。独自の救済制度導入に踏み切る自治体がでてきた中で、本市「安心して暮らせる高齢化社会」の構築のため、新しい認知症施策としての個人賠償責任保険制度について、市長の所見を伺う。